

## はじめに

本学学生及び主として青森市内の大学生を対象として『健やか力検定』を実施した。今回から会場検定方式に加え、オンライン方式での検定を導入した。

## 目的

1. 「ヘルスリテラシー向上部の活動を通じて」人材の育成に寄与する。
2. 大学生が健康知識を得ることで成人期以降の生活習慣病予防に資する。
3. 更なるヘルスリテラシー向上につながる検定の知見を得る。

## 活動方法

「ヘルスリテラシー向上部」部員や教員により『健やか力検定』(生活習慣編)の問題を作成し、12月11日に本学及び青森大学において会場検定を行った。併せて、同日オンライン方式での検定も実施した。

## 活動結果

上記の結果、会場検定では80名(本学32名、青森大学48名)で、正解率60%以上の合格者は69名(合格率は86.3%)、平均得点は74.6点であった。一方、オンライン受検者は57名(本学、青森大学、弘前大学、弘前医療福祉大学、秋田看護福祉大学等)で、合格者は46名、(合格率80.7%)、平均得点は72.2点であった。

## 考察

コロナ禍における活動であったが、昨年度来の課題となっていたオンライン方式での検定を試行的にはあるが実施することができ、57名の参加者があったことは、今後仮にコロナ禍の中にあっても、より受検者の対象範囲を広げて、かつ機動的に検定を実施する基盤が整った。